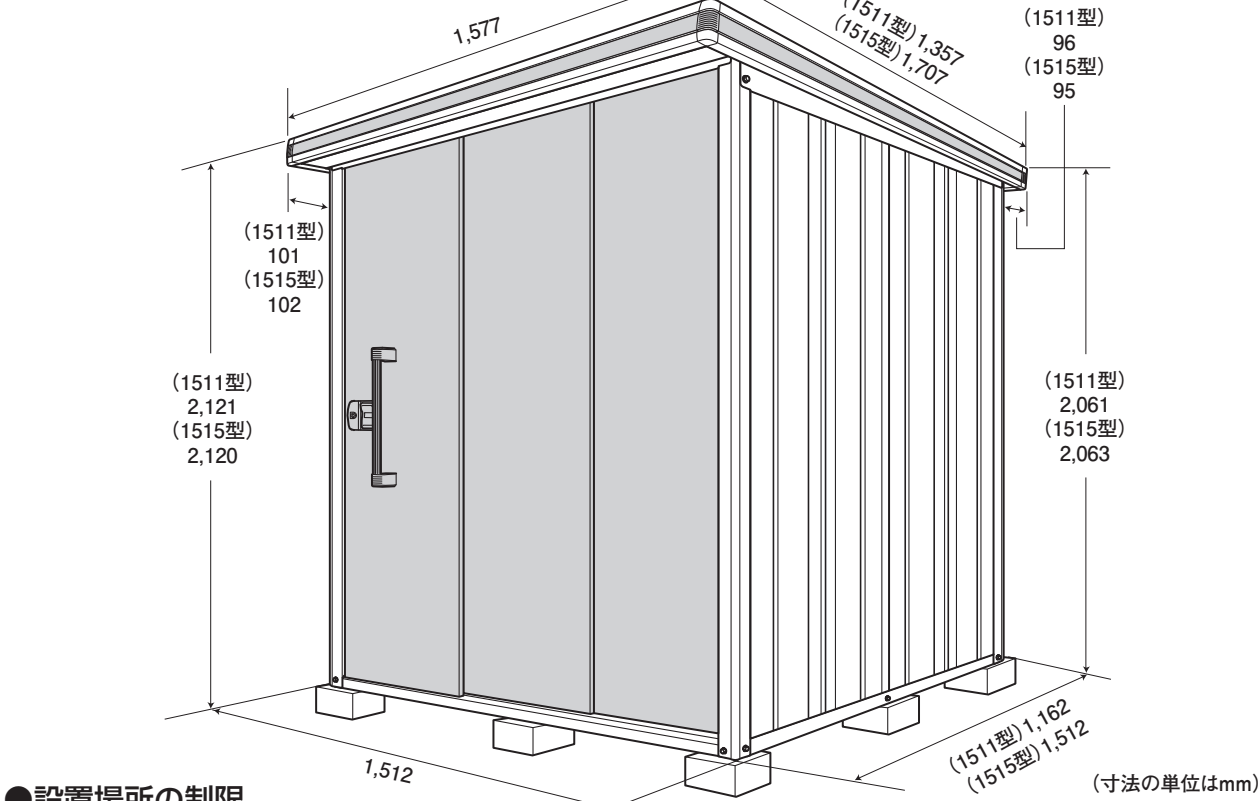


ヨド物置エルモ組立説明書LMD-1511型・1515型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は「1515」の組立手順を基本に説明しています。



- 設置場所の制限
- △注意
- 建物の屋上には設置しないでください。
 - バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
 - 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
 - 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
 - 浴湯器の前には設置しないでください。

- 組立施工の際には
- △注意
- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
 - 組立の際には手袋を着用してください。
 - 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
 - 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
 - 嵐の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
 - 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
 - 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表			
機 種	1511 型	1515 型	
部 品			
枠	上枠前後	LM5-0122	LM5-0122
	下枠前後	LM5-0203	LM5-0203
	上枠左右	LM5-0302	LM5-0303
	下枠左右	LM5-0352	LM5-0353
柱	柱	LM5-0411	LM5-0411
	間柱	LM5-1465	LM5-1466
補強	鼻隠し	LM5-1103	LM5-1103
	一般・積雪共用型	LM5-0511	LM5-0511
床	豪雪型	LM5-3511	LM5-3511
	LM5-0706	LM5-0713	LM5-0713
屋根	LM5-0911	LM5-0922	LM5-0922
	LM5-1004	LM5-1003	LM5-1003
壁	LM5-1022	LM5-1003	LM5-1003
	LM5-1053	LM5-1053	LM5-1053
地盤	LM5-1703	LM5-1703	LM5-1703
	LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903
合計	一般・積雪共用型	16	16
	豪雪型	16	16

●梱包内容表			
●部品	1511,1515	●下枠左右梱包	1511
●部材名	数量	LM5-0352	数量
ELD 間柱固定金具	2	ELD 下枠側 A1.5 (左)	1
ボルト (スプリングワッシャー付) M6×15	5 (1)	ELD 下枠側 A1.5 (右)	1
ELD 柱補強金具 (AS)	1	LM5-0353	1515
ELD 下レールキャップ	1	ELD 下枠側 A2.0 (左)	1
T 型レール	1	ELD 下枠側 A2.0 (右)	1
ELD アンカープレート (L)	4	●柱	1511,1515
ELD 屋根側間隠し A	1	LM5-0411	数量
ELD 屋根側間隠し B	1	ELD 柱前 AS-右 L	1
EL 簾札フサ	1	ELD 柱前 AS-左 L	1
ガルバリウム鋼板 1511 (白)	130 (5)	ELD 柱後 L	2
組立説明書	1	ELD 戸当り (M) L	1
保証書 5 年	1	※ () 内は予告	
※ () 内は予告		●補強	1511,1515
●上枠前後	1511,1515	LM5-0511	数量
LM5-0203	数量	ELD 鼻隠し後 A2.0	1
●部材名	数量	ELD もや A-A2.0 DLK	1
ELD 上枠前 AS-A2.0	1	ELD 床補強 A2.0	1
ELD 上枠後 A2.0	1	●床	1511
ELD 床押え A2.0	2	LM5-0706	数量
●下枠前後梱包	1511,1515	ELD 床板 A1.5	4
LM5-0253	数量	LM5-0713	1515
●部材名	数量	ELD 床板 A2.0	4
ELD 下枠前 AS-A2.0	1	●屋根	1511
ELD 下枠後 A2.0	1	LM5-0911	数量
ELD 床押え A2.0	2	ELD 屋根 (70) A1.5	2
●上枠左右	1511	LM5-0922	1515
LM5-0302	数量	ELD 屋根 (70) A2.0	2
ELD 上枠左 A1.5	1		
ELD 上枠右 A1.5	1		
LM5-0303	1515		
ELD 上枠左 A2.0	1		
ELD 上枠右 A2.0	1		

○部材名にはA1.5、A2.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。
■は、雨の裏面に貼り付けてあります。

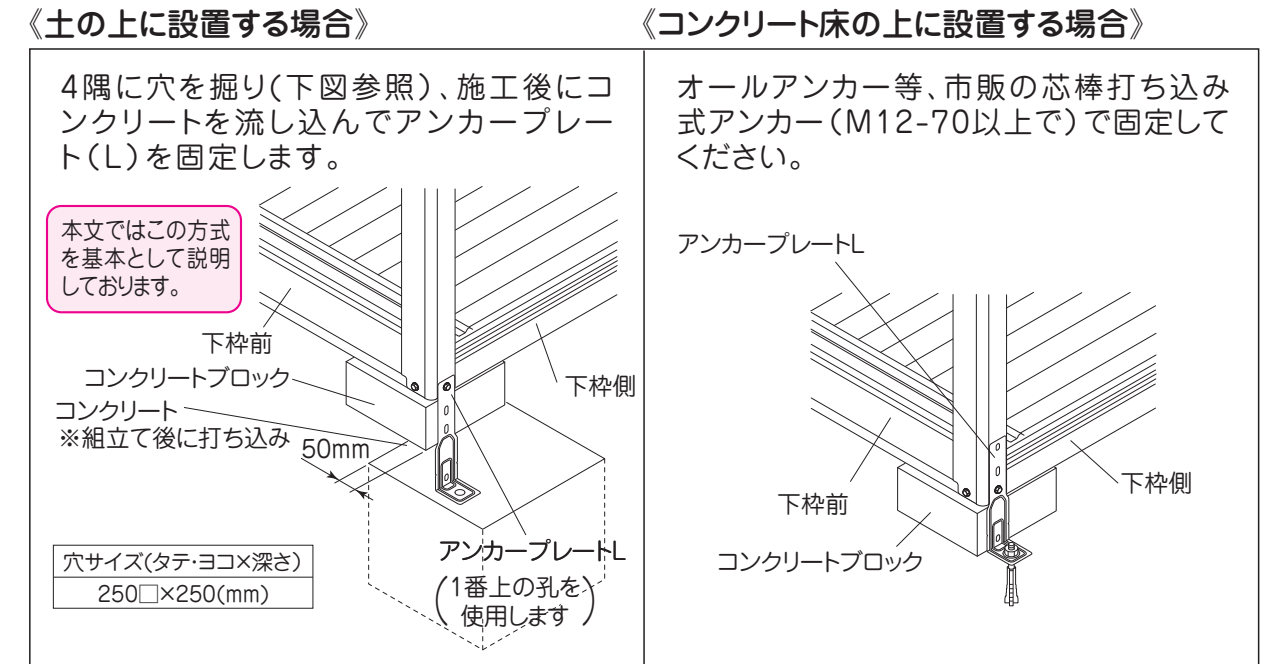
- 施工にあたって
- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
 - 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
 - 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
 - 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
 - 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

- 基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)
- ・コンクリートブロック 9ヶ (幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
 - ・コンクリート (サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)
 - ※土の上に設置する場合に必要です。
 - ・芯棒打ち込み式アンカー (M12×70以上) 4本 ※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

- 組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)
- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・ドライバー (右側開口にする場合のみ必要)



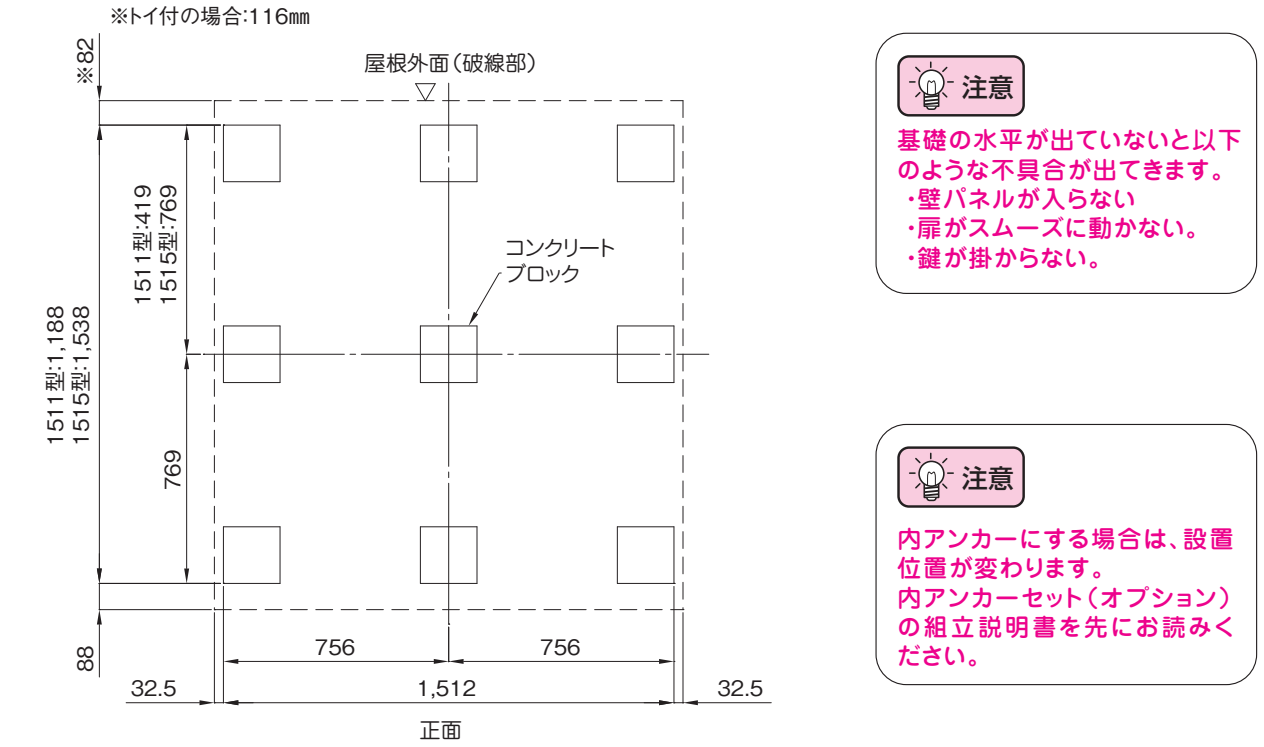
- アンカー工事について
- アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。
- △注意
- 内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート(L)を使って内アンカーの工事はしないでください。



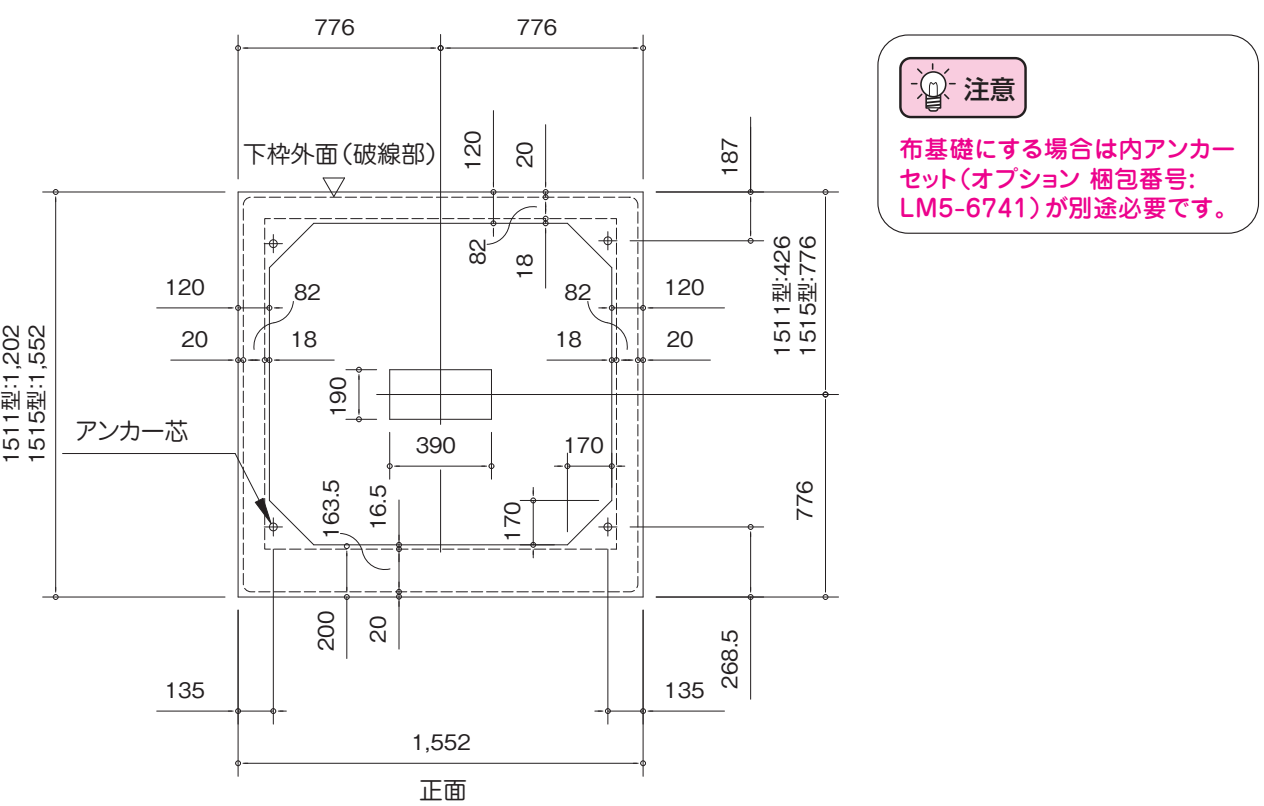
△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

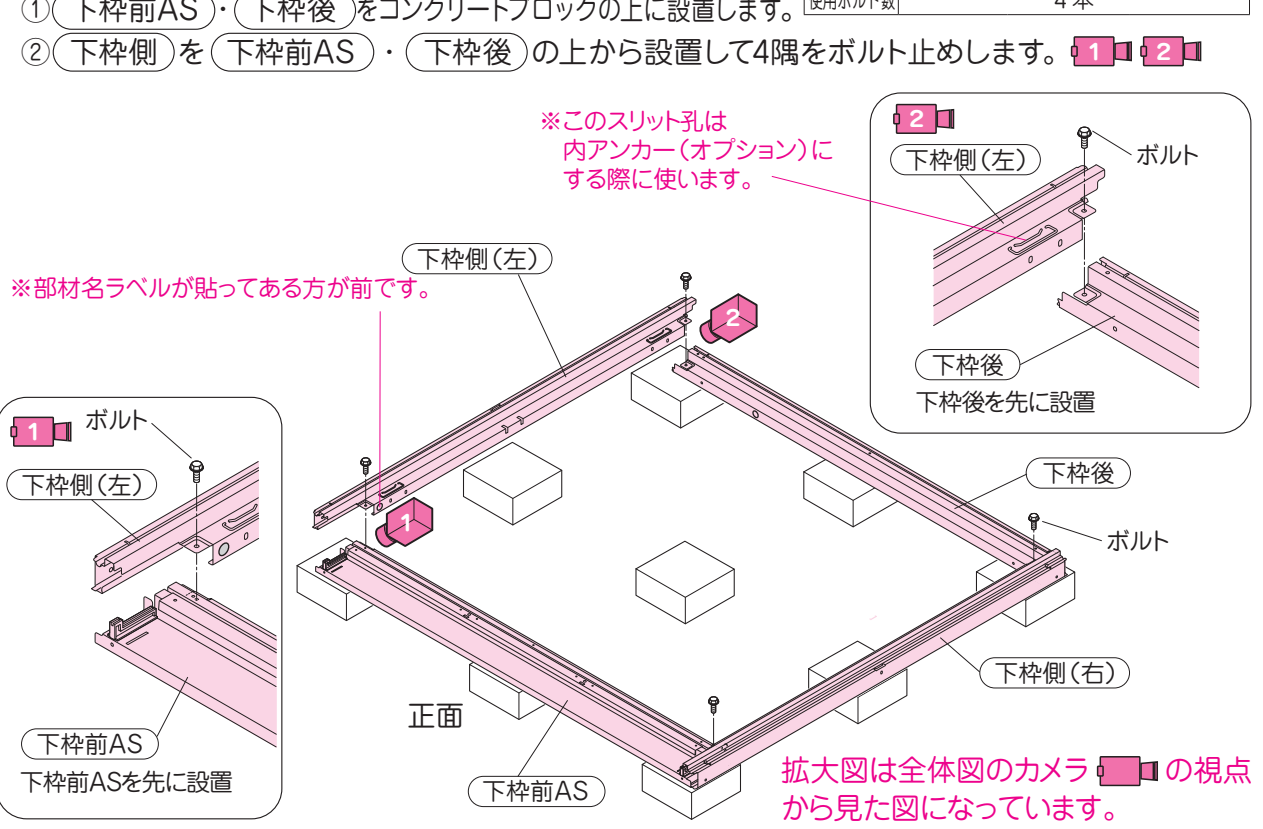
- ①設置場所の地ならし、地固めを行います。
- ②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)



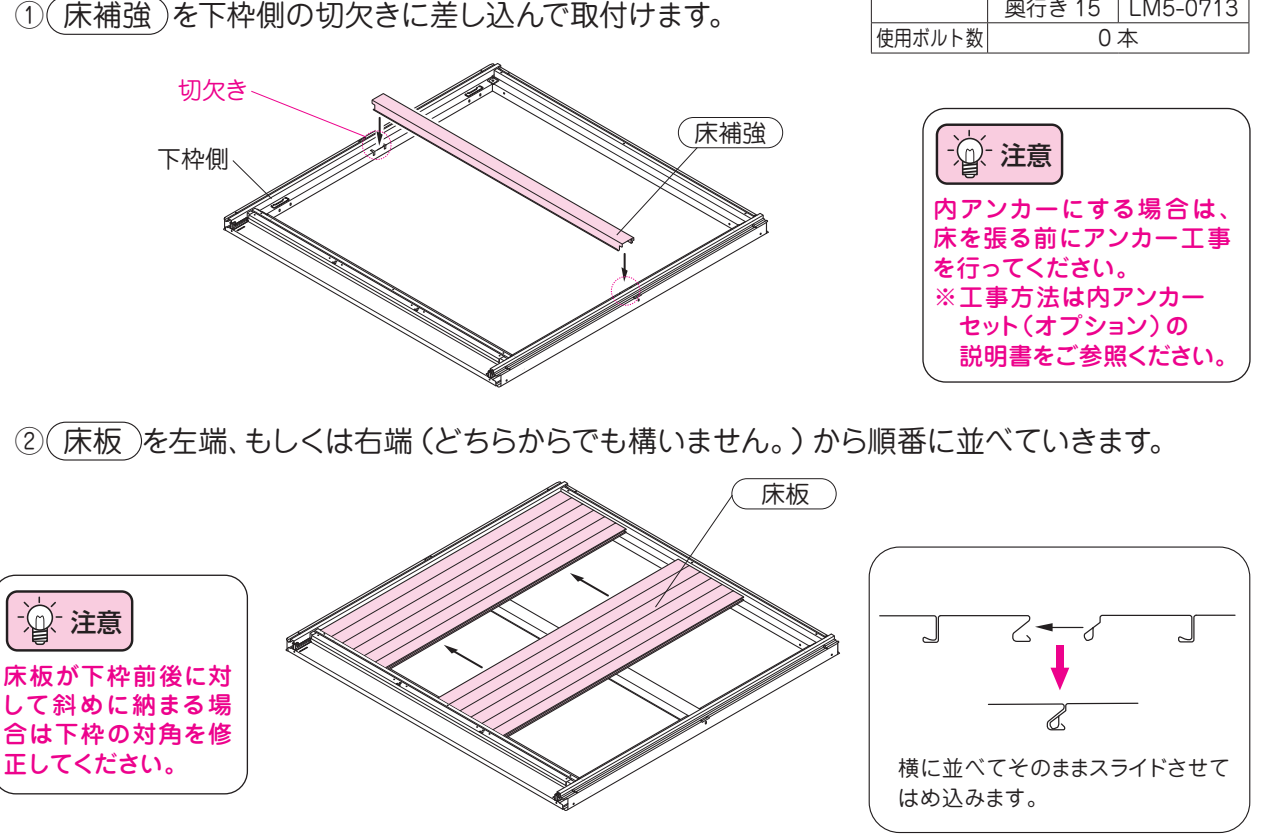
《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)



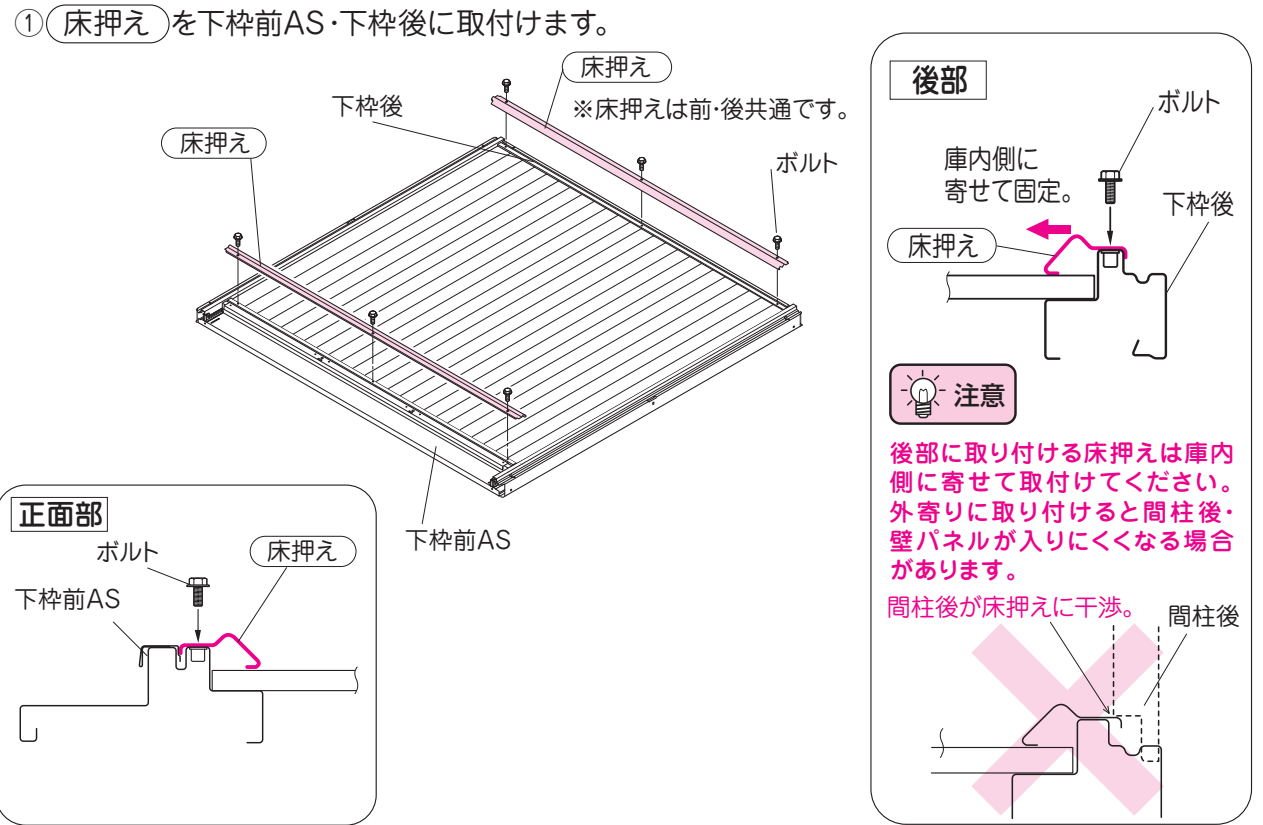
2 下枠の組立



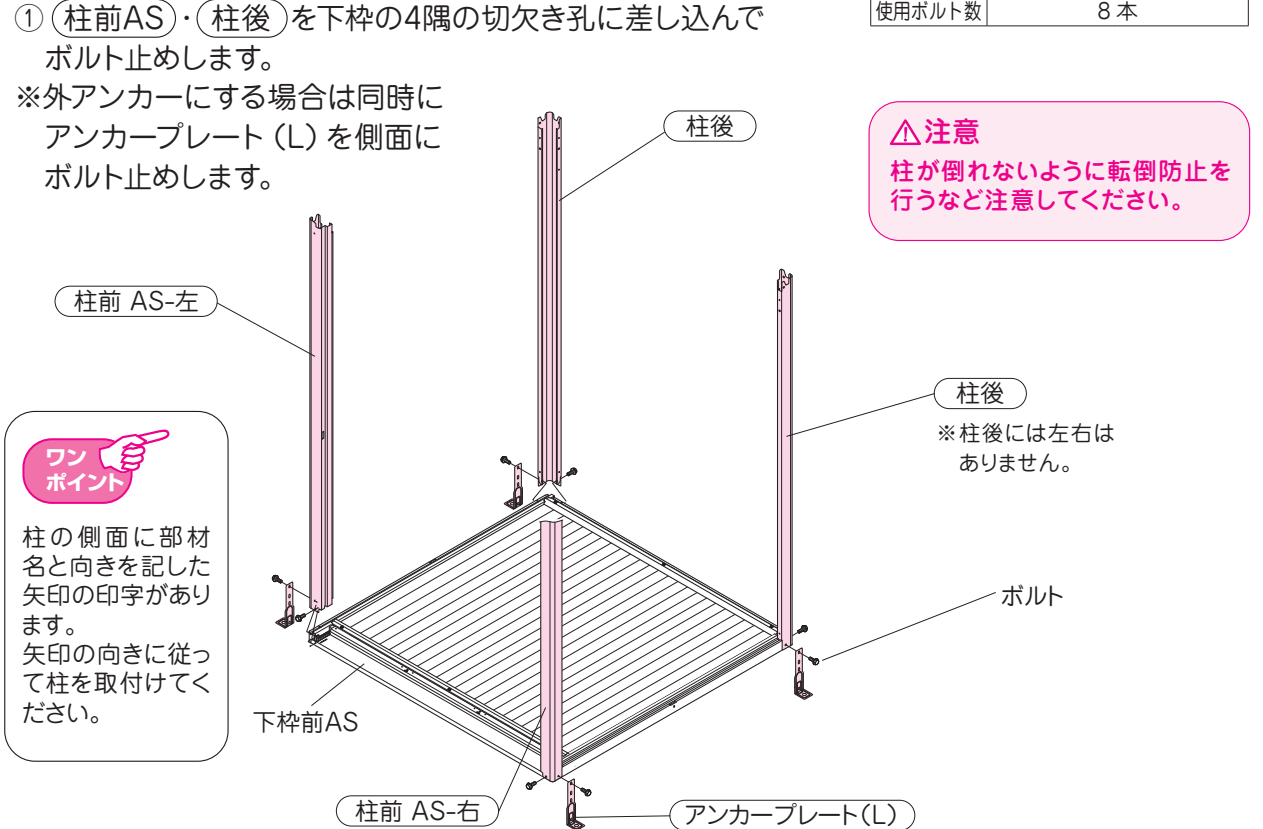
3 床の設置



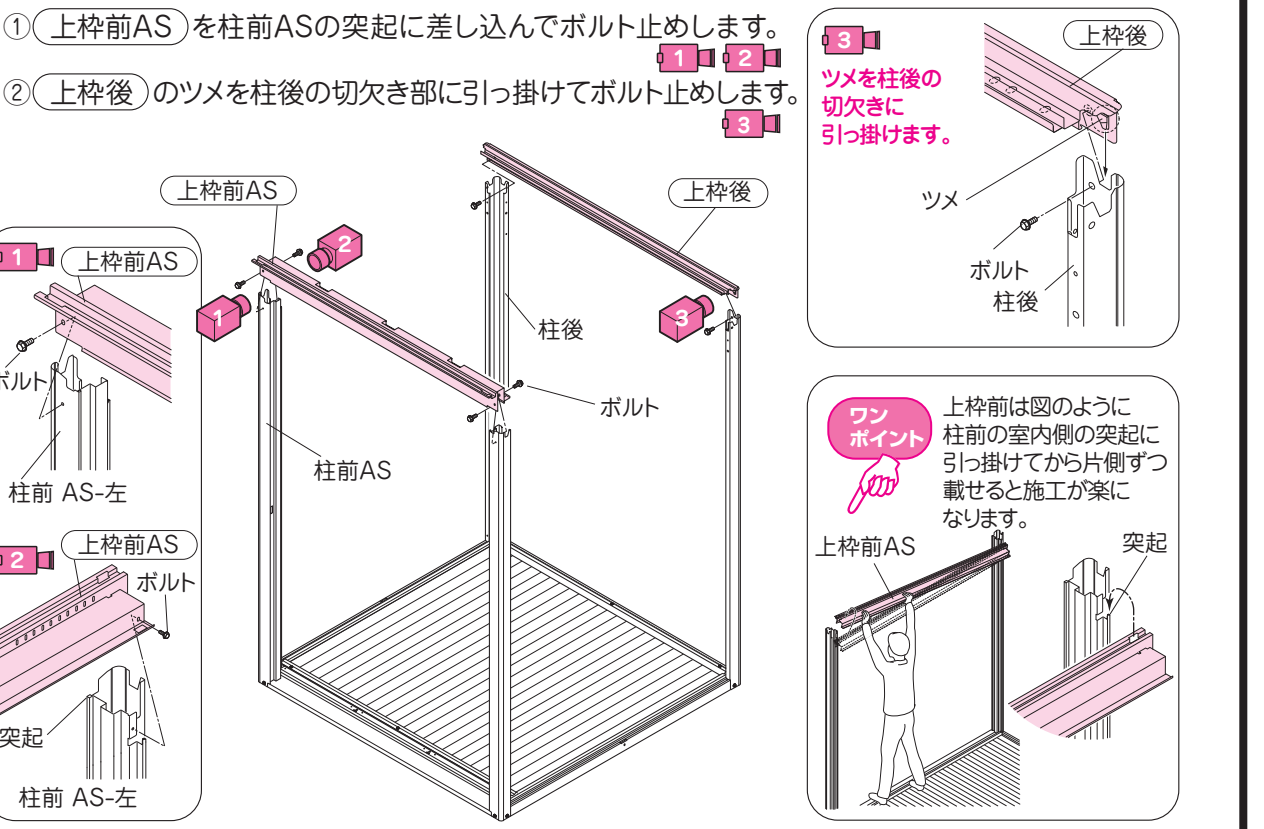
4 床押えの取付け



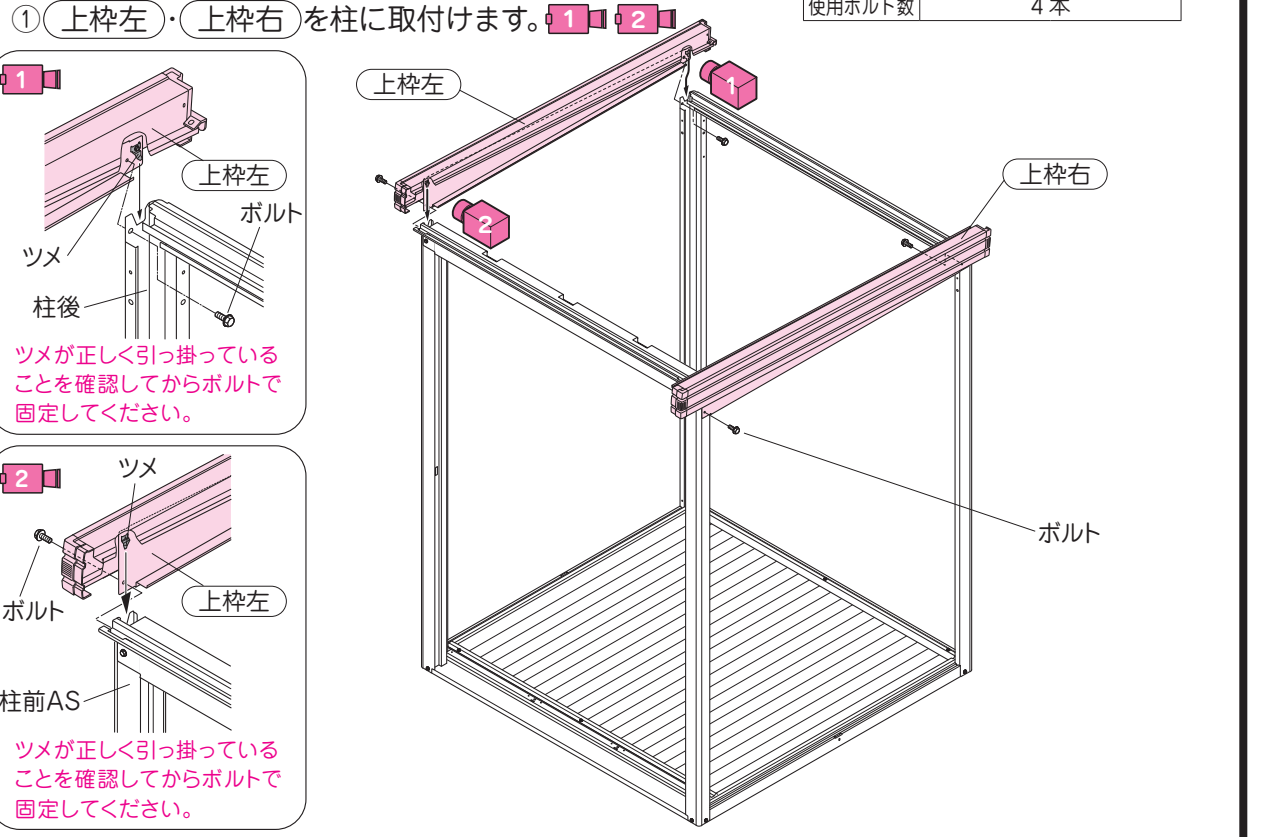
5 柱の取付け



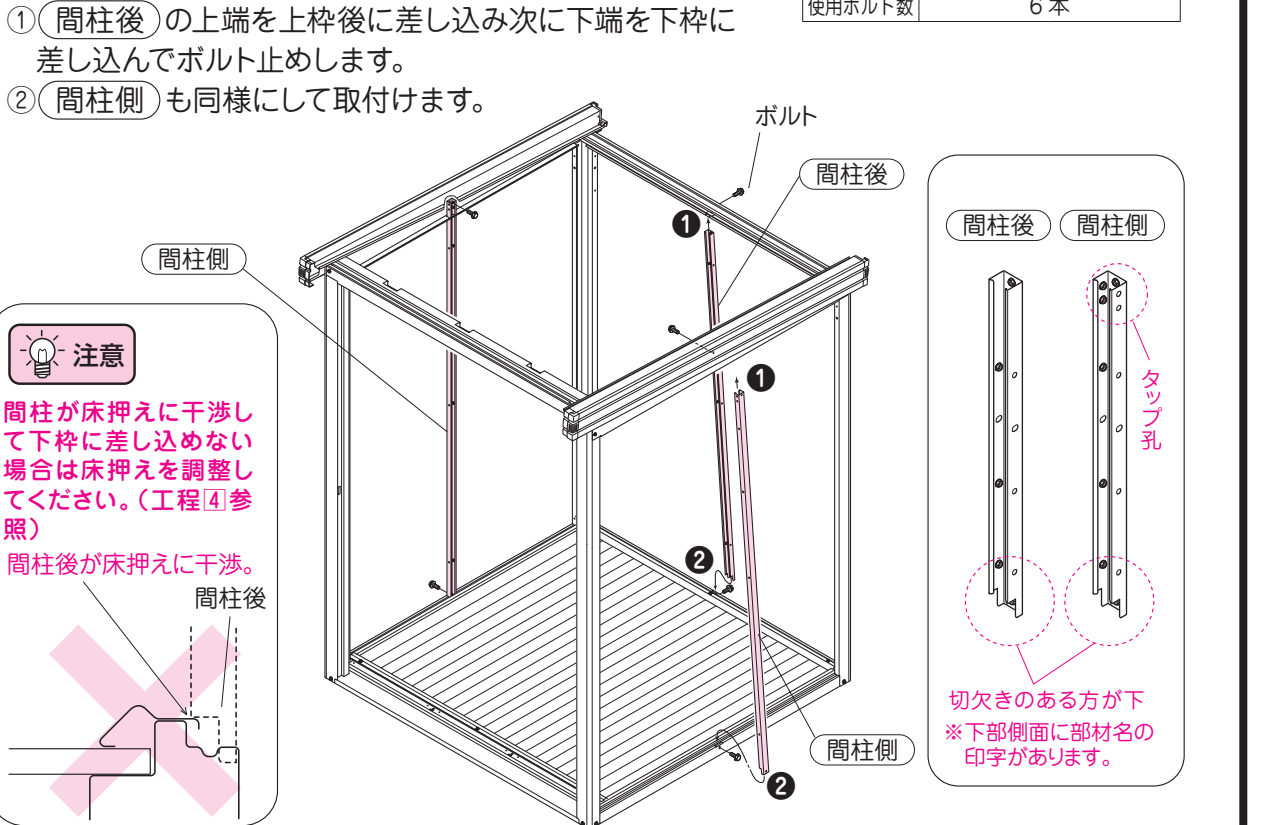
6 上枠前後の取付け



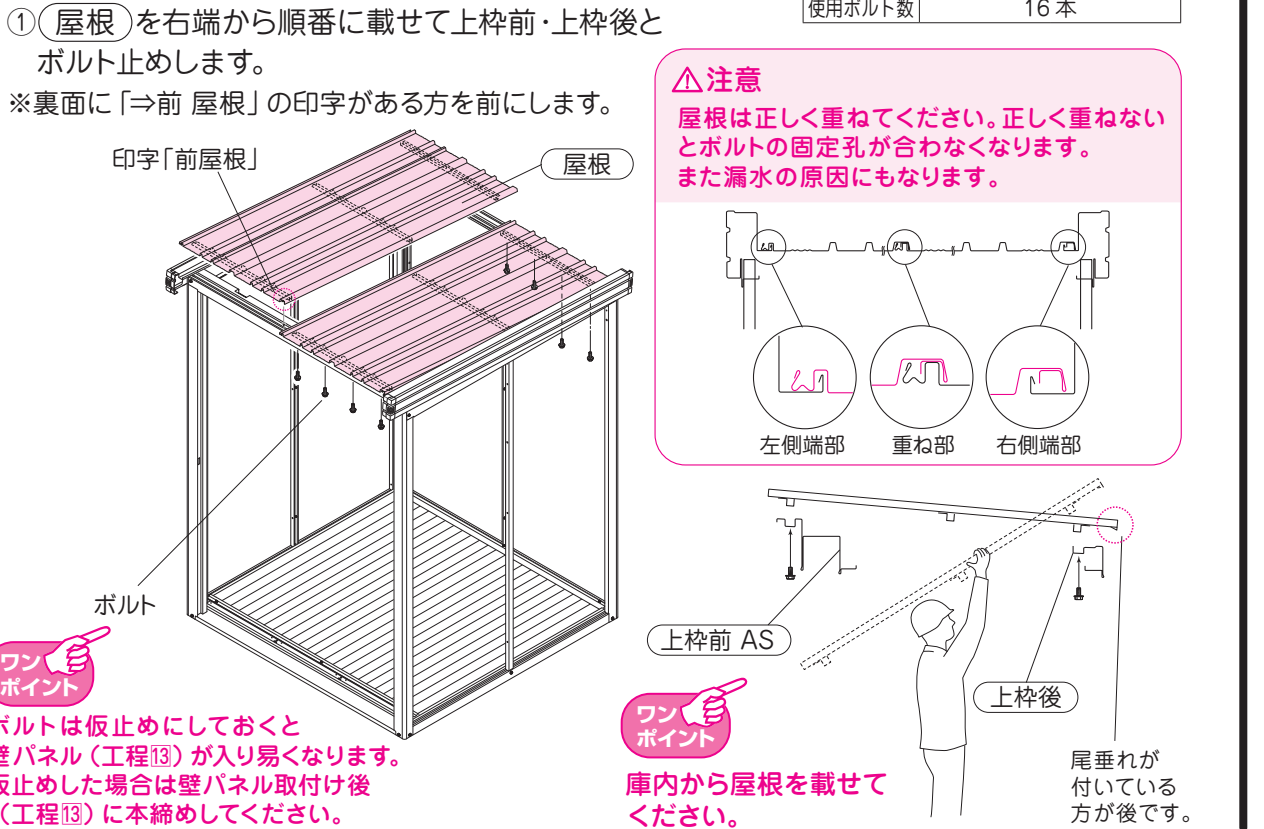
7 上枠左右の取付け



8 間柱側・後の取付け

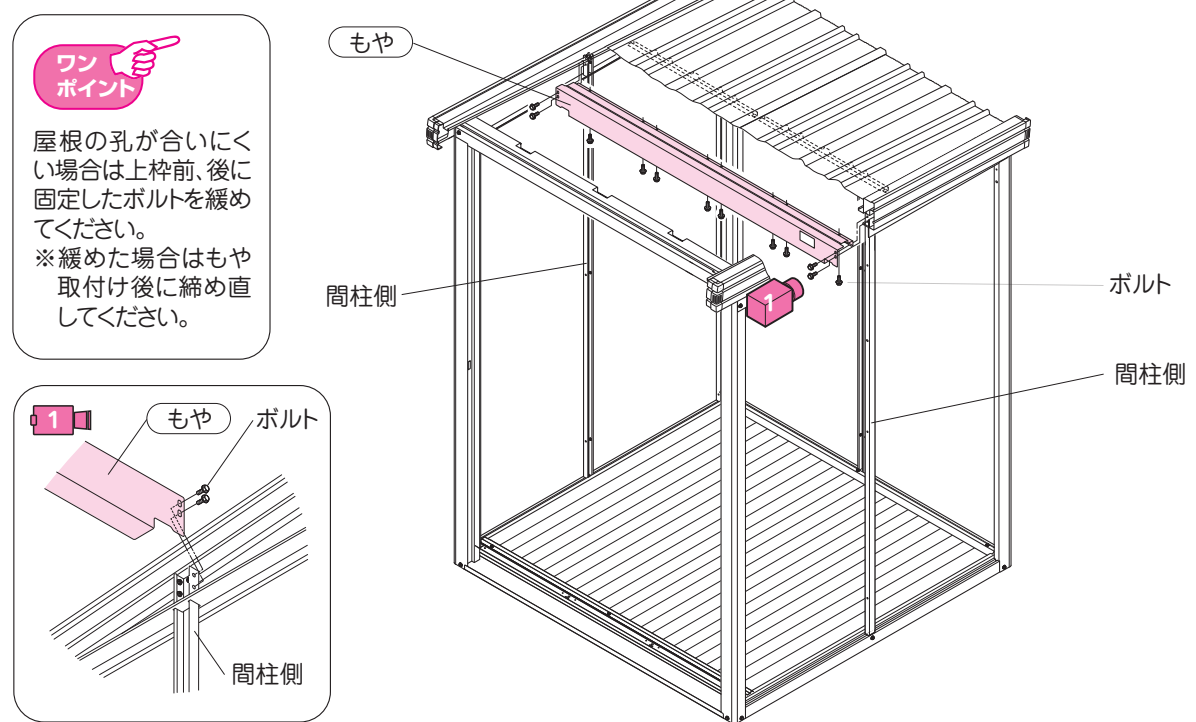


9 屋根の取付け



10 もやの取付け

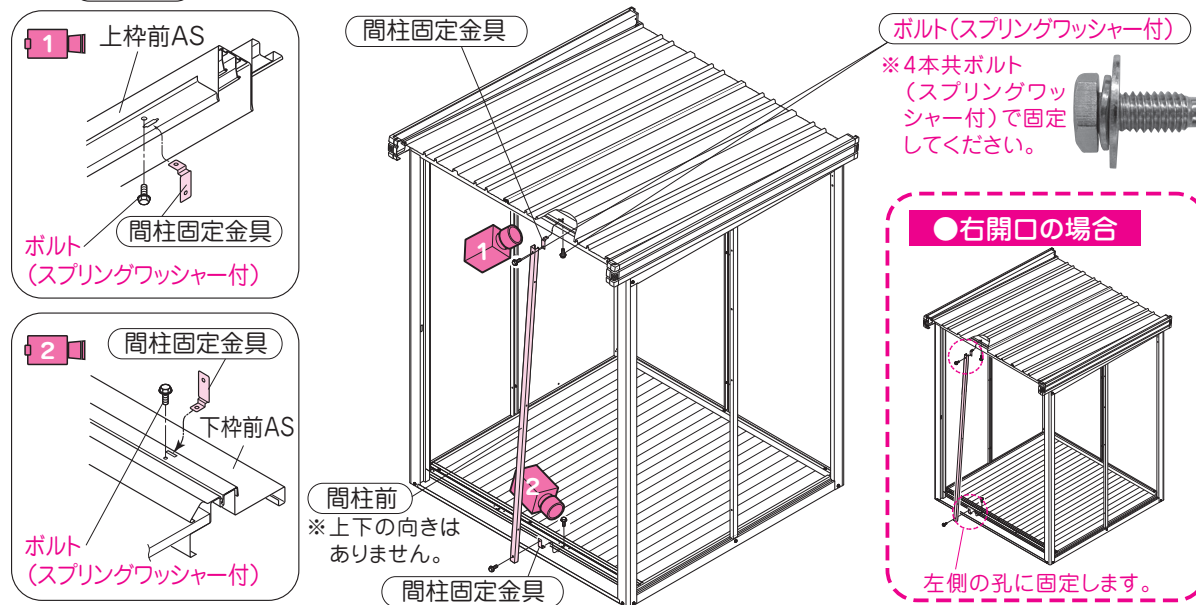
- ① もや を正面から間柱側に載せてボルト止めします。**1**
- ② もや と屋根をボルト止めします。



11 間柱前の取付け

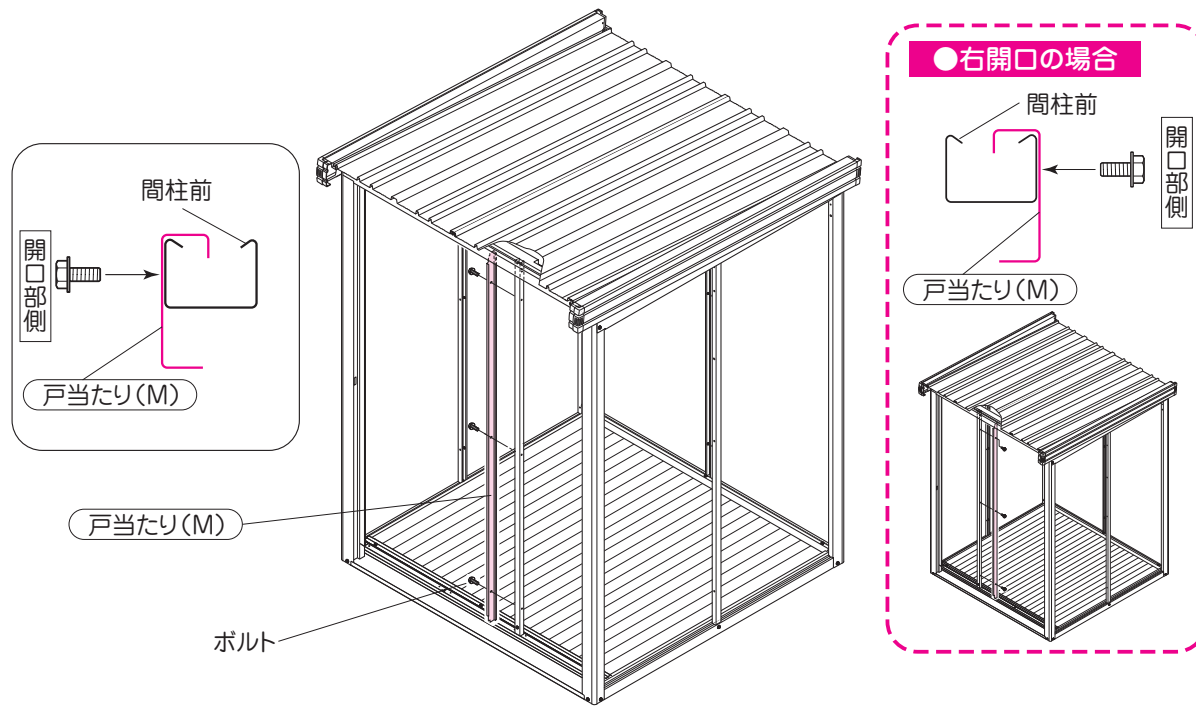
- 注意** 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて相立説明書11・12・14・16・17・19を読んでください。

- ① 間柱固定金具 を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。**1** **2**
- ② 間柱前 の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。



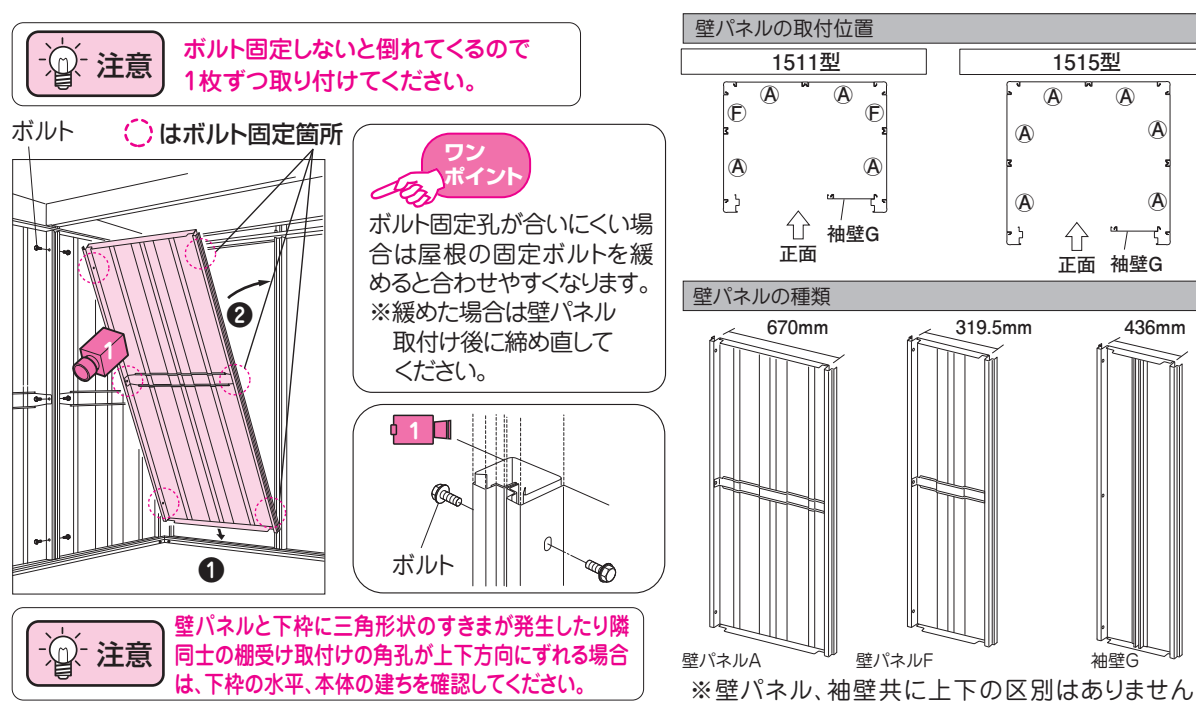
12 戸当たりの取付け

- ① 戸当たり(M) を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。-工程17参照



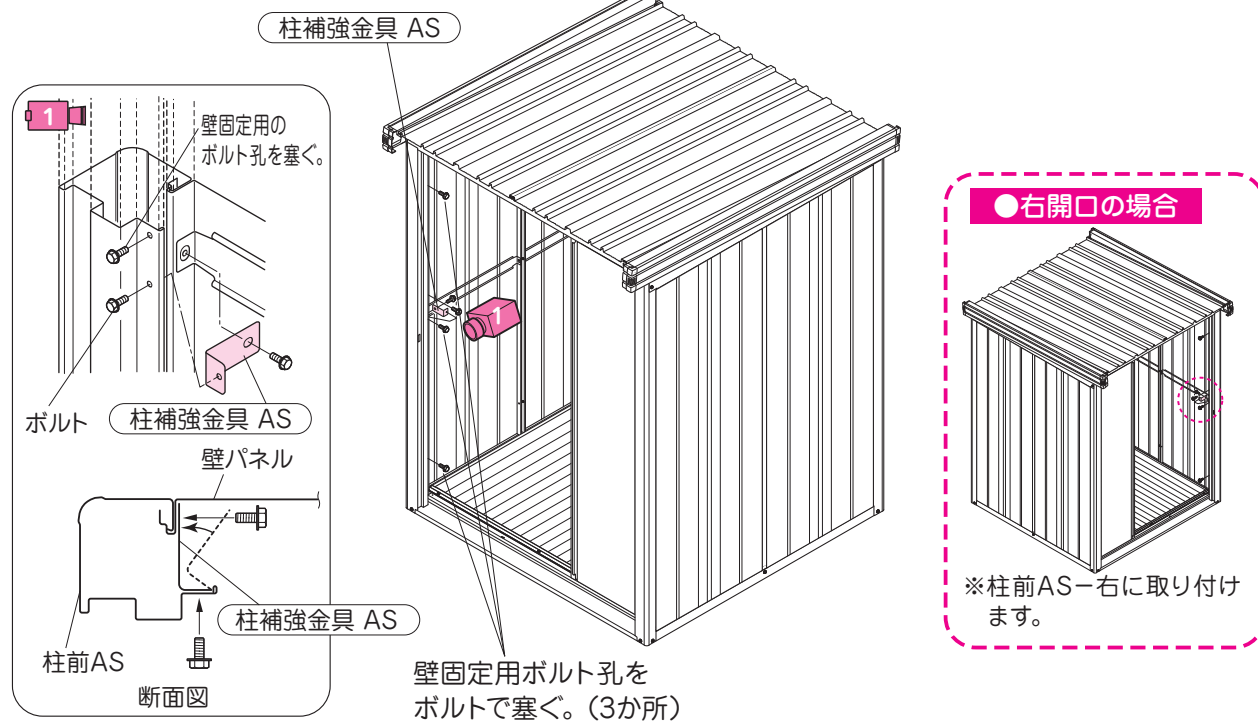
13 壁パネル・袖壁の取付け

- ①室内から「壁パネル」・「袖壁パネル」をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
②柱・間柱にボルト止めします。**1** **2** (開口部側面の壁は柱補強金具と一緒に固定します。-工程14参照)



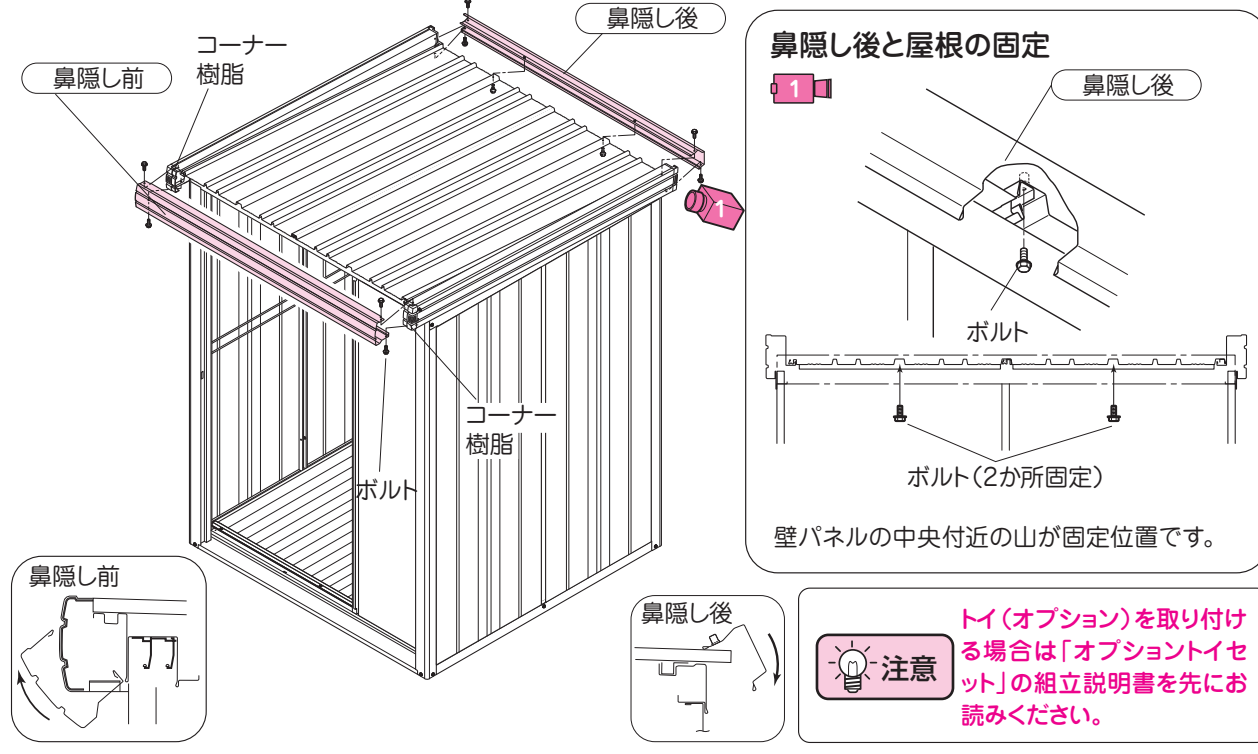
14 柱補強金具の取付け

- ① 柱補強金具AS を柱前AS-左 (右側開口の場合は柱前AS-右) にボルト止めします。**1**
- ② 壁面固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。



15 鼻隠しの取付け

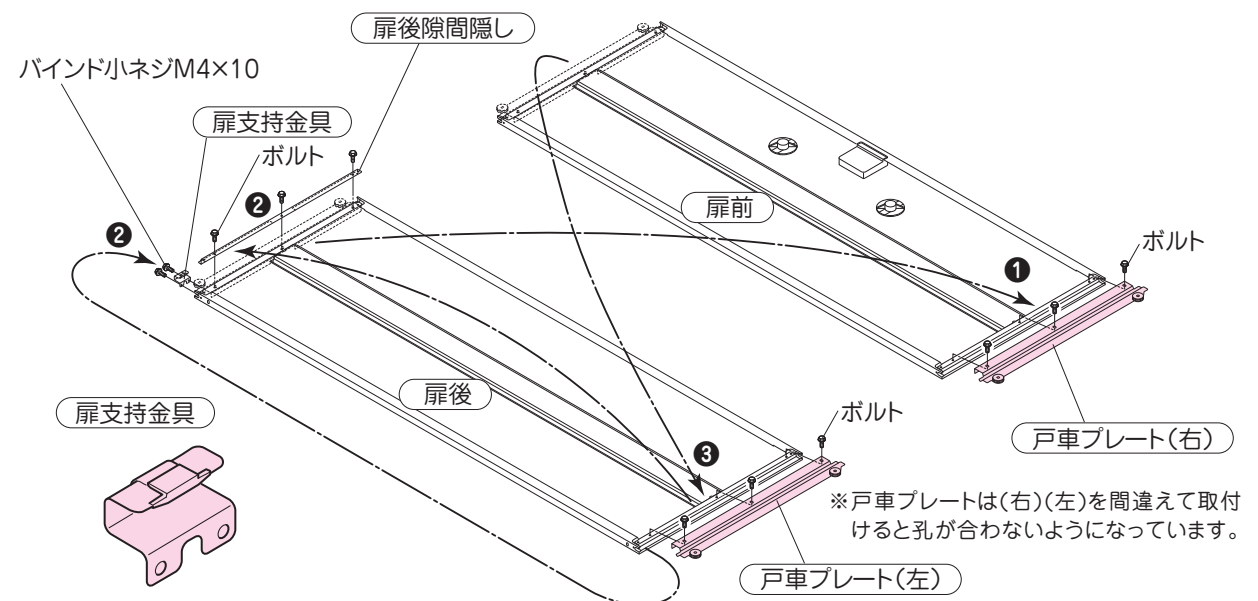
- ① 鼻隠し前・鼻隠し後 を上枠左右のコーナー樹脂にかがせるようにして取付けてボルト止めします。
- ② 鼻隠し後 と屋根をボルト止めします。**1**



16 扉吊元変更(右開口に変更する場合のみ)

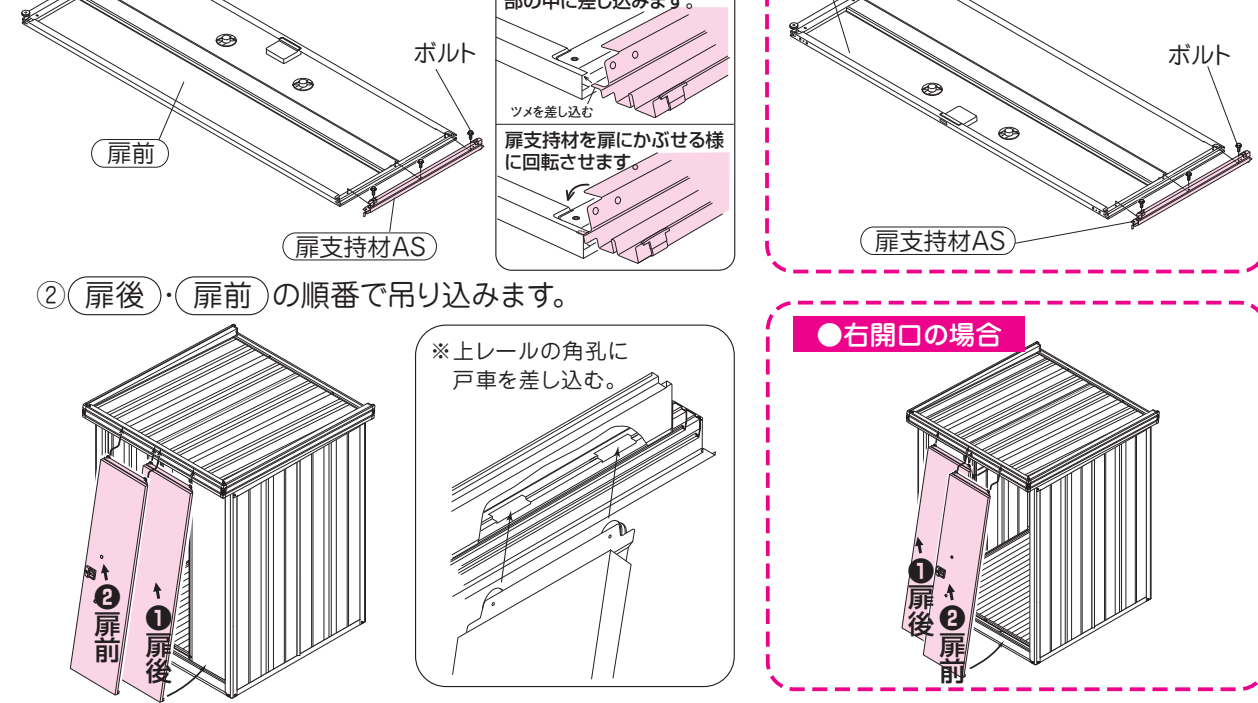
- 注意** 右開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。左開口の場合はこの工程は必要ありません。

- ① 扉後から「戸車プレート(右)」を取り外し扉前の戸車プレートが付いていない方に取付けます。
- ② 扉後の「扉後隙間隠し」「扉支持金具」を取り外して扉後の反対側に取付けます。
- ③ 扉前の最初に付いていた「戸車プレート(左)」を取り外して扉後に取付けます。

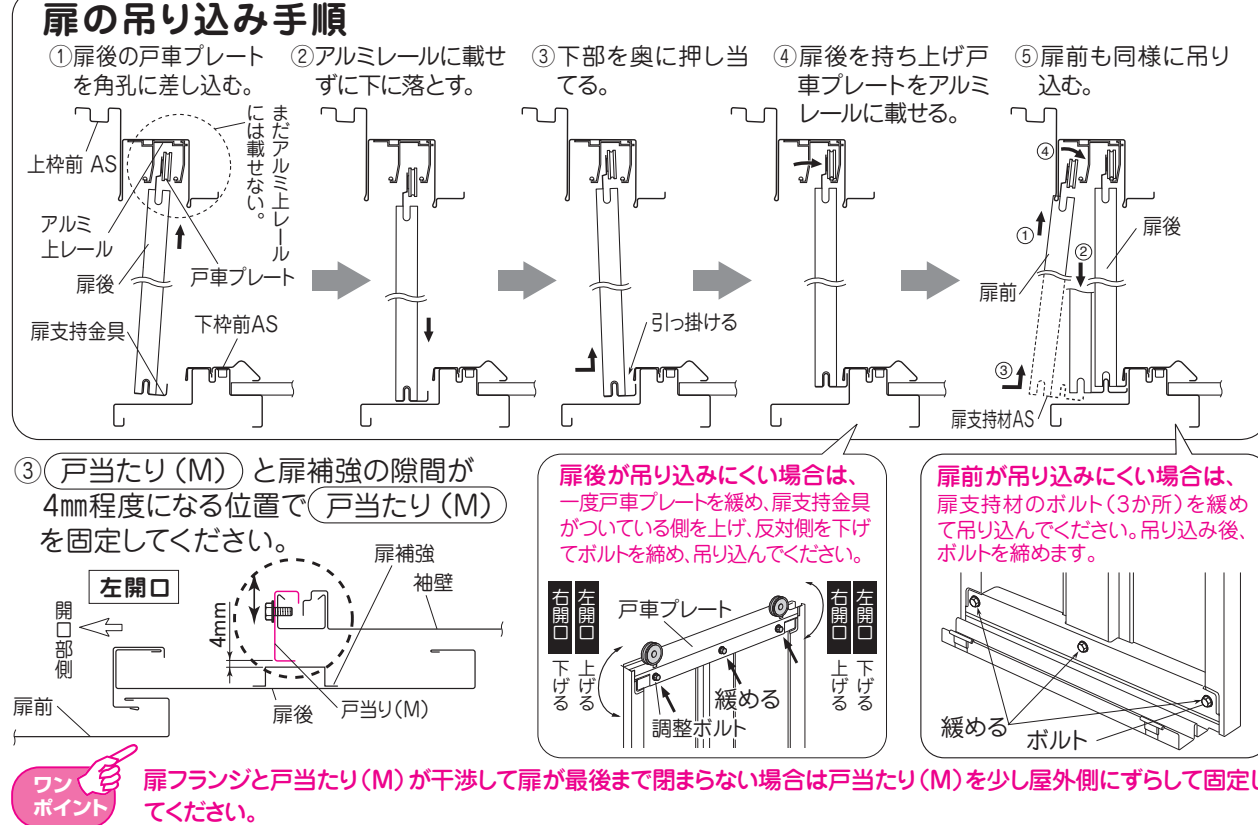


17 扉の吊り込み(1)

- 注意** 扉を吊り込む際は下枠前ASの上面に砂埃が無いことを確認してください。

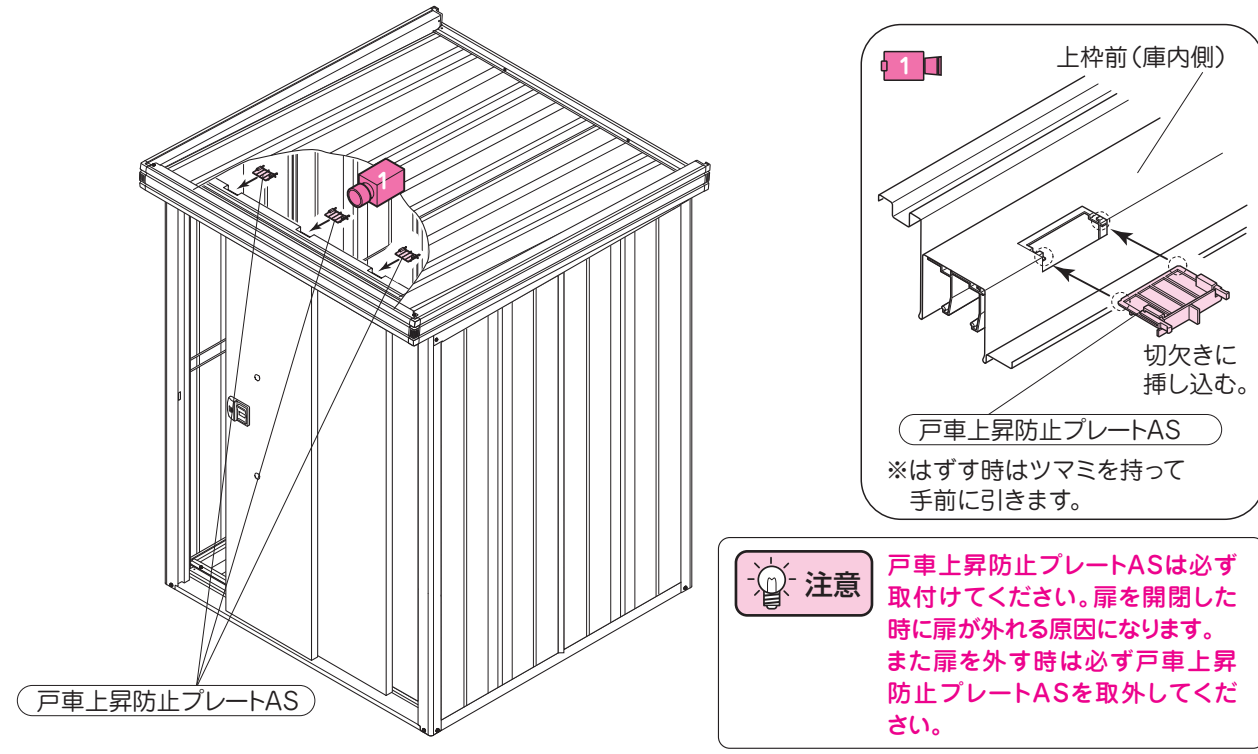


17 扉の吊り込み(2)



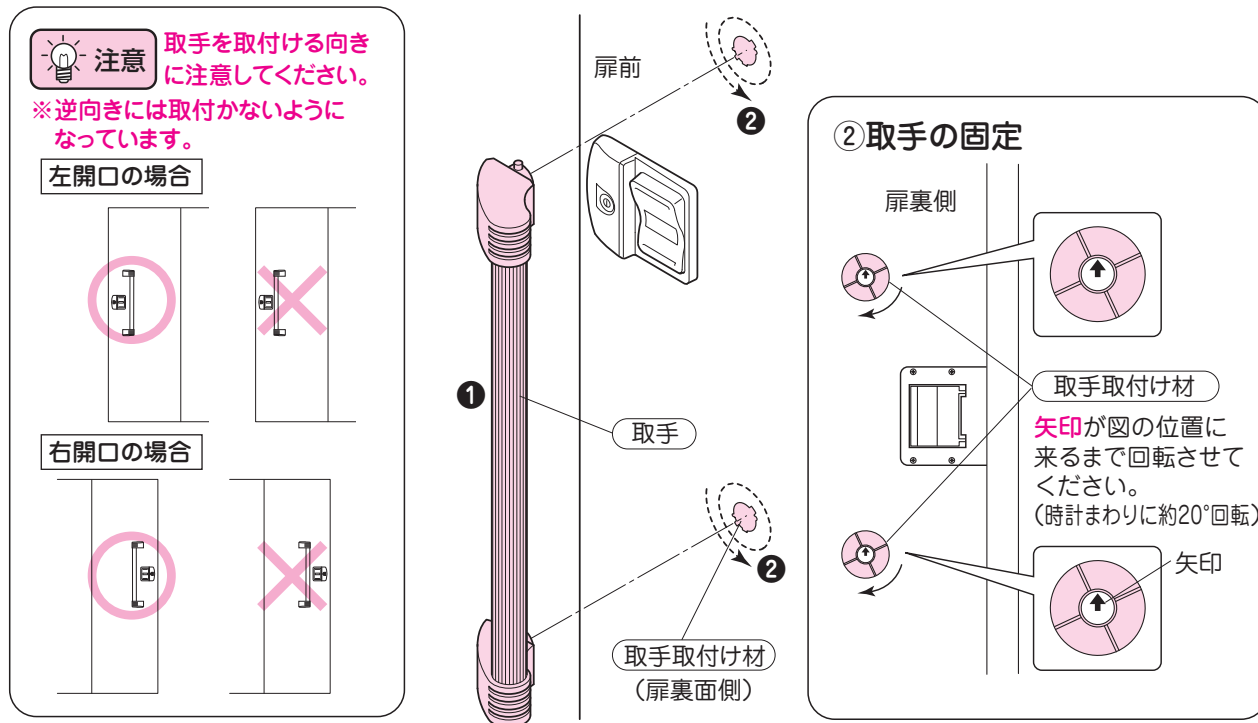
18 戸車上昇防止プレートの取付け

- ① 戸車上昇防止プレートAS を上枠前ASに取付けます。(3か所)**1**



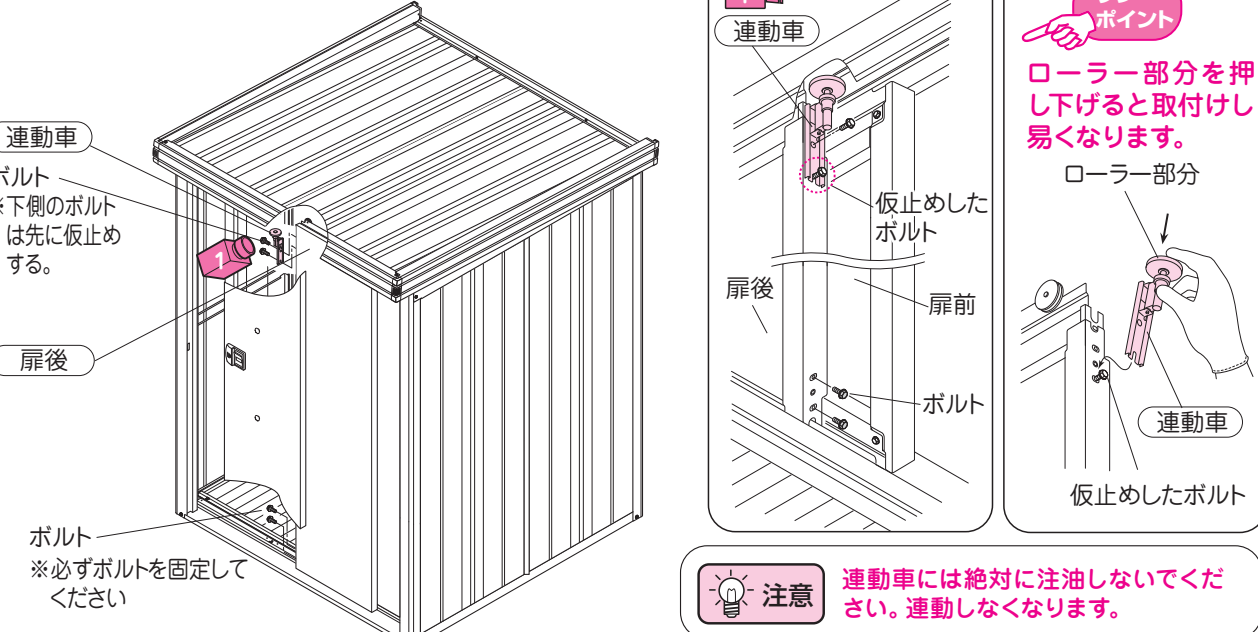
19 取手の取付け

- ① 取手 を扉前の取付け孔に差し込みます。※向きがありますので注意してください。
- ② 扉裏の「取手取付け材」を回して取手を固定します。



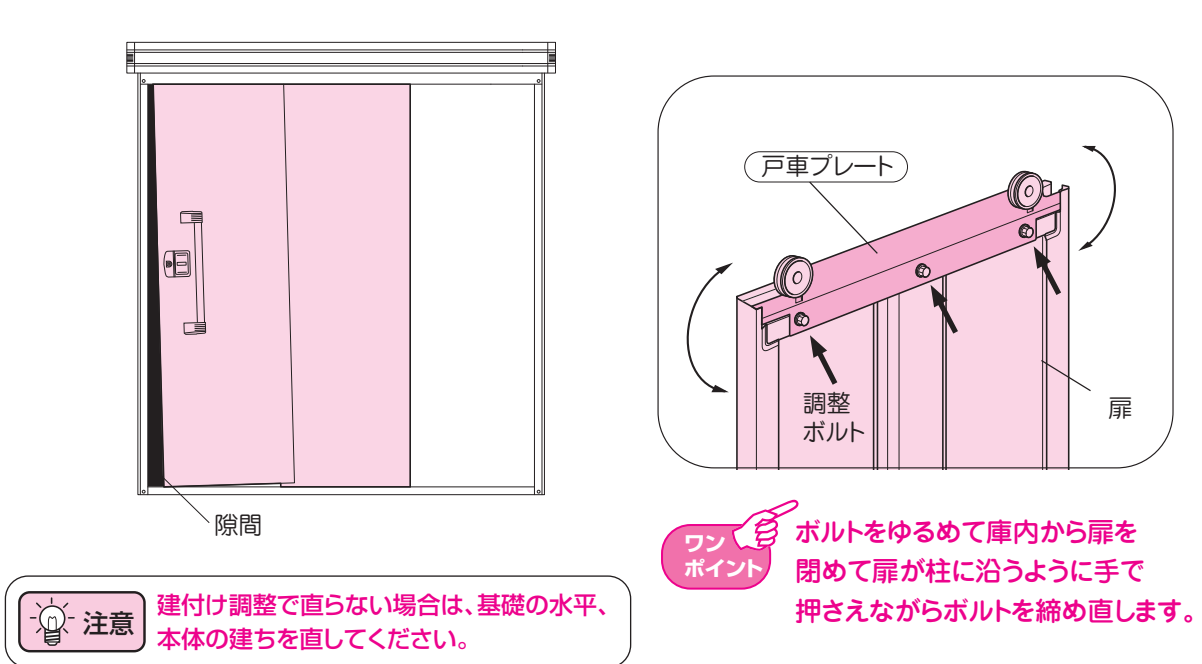
20 連動車の取付け

- ① 扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。(ネジ部を5mm程度残してください)
- ② 連動車 のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めたボルトに引っ掛けます。**1**
- ③ 連動車 をボルトで固定します。(仮止めたボルトも締め込んでください。)
- ④ 扉後下部のボルト孔を塞ぎます。



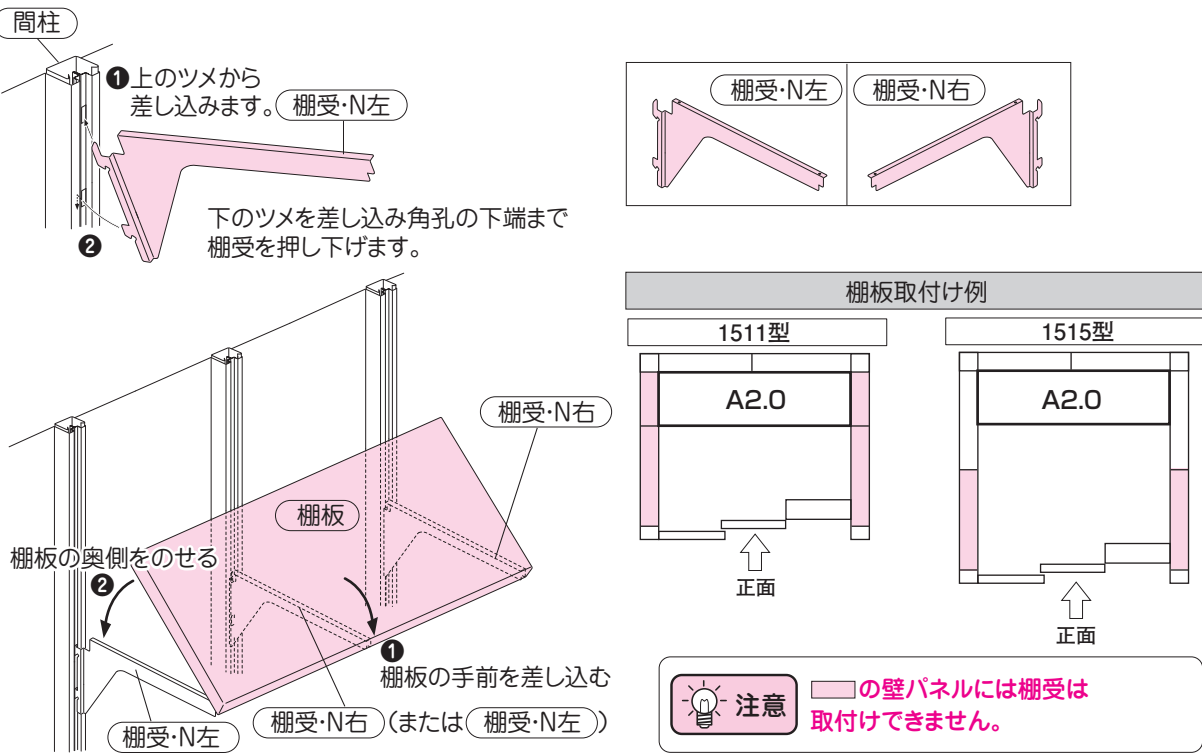
21 扉の建付け調整

- ① 扉を開けて柱と扉との隙間を確認します。
隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。



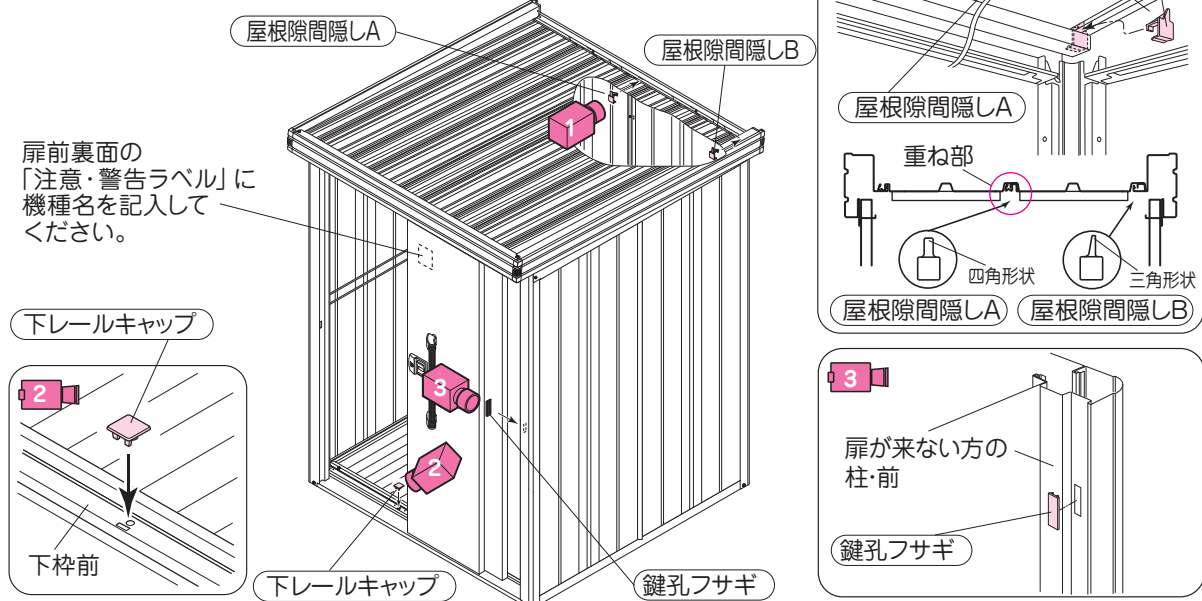
22 棚板の取付け

- ① 棚受 を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- ② 棚板 を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)



23 その他部品の取付け

- ① 扉裏面の注意・警告ラベルに`機種名`を記入します。
- ② 屋根隙間隠しA を上枠後の屋根の重ね部に(屋根隙間隠しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。**1**
- ③ 下レールキャップ を下枠前に取付けます。**2**
- ④ 鍵孔フサギ を袖壁側の柱前に取付けます。**3**



●錠操作方法について 取扱説明書「錠操作方法について」を必ずご参照ください。

○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

①扉の建て付け調整ができていないかご確認ください。
②鍵が正常に作動するかご確認ください。
③戸車上昇防止プレートASが取り付けられているかご確認ください。
④棚板の配置確認をしてください。
⑤機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル)
⑥ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

○こんな時は

・扉が外れてしまった。	戸車上昇防止プレートAS、連動車を外して扉を吊り込みなおしてください。(工程17・18・20)
・扉がスムーズに連動しない。	1. 本体の建ちを確認してください。 2. 連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。 3. 連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。
・取手が外れる。	取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程19)
・扉が最後まで閉まらない。	戸当たり(M)を調整してください。(工程17)

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

YODOKAWA LMD-1511_KS_2025B